

学校だより 本郷

令和3年(2021)4月号

松本市立本郷小学校

1 学期始業式の校長講話 「目標をもって、挑戦し続けよう」

3月から1学年進級して、みなさん一人ひとりが新しい学年になりました。今日がその新しい1年の始まりの日です。新しい学年としての目標や希望をしっかりと見つめて、がんばっていきましょう。

ところで、皆さんは、学校の勉強や水泳、サッカー、ピアノ、習字などいろいろなことに頑張っていると思います。「テストで100点を取りたい」「もっと上手になりたい」「試合に勝ちたい」と思って、毎日勉強や練習をしていると思いますが、「なかなか思うようにならない。練習しても失敗ばかり。なんでうまくできないんだろう、なんで勝てないんだろう」と思ったことはありませんか。そこで、そのようなときに頑張っ



って乗り越えられる言葉を紹介したいと思います。それは、水泳の池江璃花子選手が語った「努力は必ず報われる」です。池江選手は、16歳でリオ五輪に出場し、続く2020年に予定されていた東京五輪にも、その実力から、間違いなく日本代表選手として出場するものと誰もが思っていました。ところが、2019年2月に大病である白血病を公表しました。その後、大変な治療を続け、体重は一時約15キロも落ちたそうです。苦しい闘病生活を経て、昨年3月によくプール練習を再開し、24年のパリ五輪を第一目標として取り組んできた中で、おとといの4月4日、自国開催の東京五輪の切符をつかむことができました。

国立がんセンターの医師は、「退院後、1年余りでトップアスリーの域まで回復するのは極めて異例だ。本人の並々ならぬ努力とチームの支援があったからだろう。」と話していました。池江選手はレース後のコメントで、「自分が勝てるのは、ずっと先のことだと思っていた。すごく辛くて、しんどくても、努力は必ず報われるんだなと思った。今すごく幸せ。」と涙を流しながら語る姿がとても印象的でした。皆さんも、自分にできることを増やすためには、新しいことに挑戦したり、もっと上手になるために努力したりすることが必要となります。しかし一方で、途中でやめたくなることや諦めてしまうこともあるかもしれません。そのときには、池江選手の「努力は必ず報われる」を思い出してください。

新年度を迎えた今、今日発表してくれた2年生の轟莉央さんと、6年生の鹿嶋峻平さん、二人のお友だちのように、みなさんも何か一つ目標を持ち、それに挑戦していつてもらいたいなと思っています。それは大きな目標、難しい目標ではなくてもいいんです。今よりも、ちょっと頑張ればできることを目標にし挑戦してもらえればいいと思っています。また、好きなことを見つけること、そして続けることでもいいと思います。

校長先生が小学校5年生の時に、近所のおじさんに教えてもらったカッコウの鳴き真似を披露したいと思います。これは、その近所のおじさんが私の目の前で、手笛を吹いて、実際にカッコウを呼び寄せた姿をみて、「絶対できるようになりたい、カッコウを呼べるようになりたい」という想いで、半年ほど毎日練習をして、ようやくできるようになりました。その時の嬉しさは今でも昨日のここのように鮮明に覚えています。今では、本物のカッコウを呼ぶこともできるようになりました。何か一つでも、自分が意識して努力してできるようになると、自信が生まれます。1つの自信が生まれると、朝顔の種が芽を出して、その芽がだんだんと大きくなっていくように、自信の芽もどんどん大きくなっていきます。そして、やがてつぼみができて、きれいな花が咲くようになるでしょう。

この1年間で、みなさん一人ひとりが、それぞれに素敵な花を咲かせることを、校長先生は今から楽しみにしています。

令和3年度 新任職員の紹介

新年度、唐澤信好校長他、12名の職員が着任し、令和3年度がスタートしました。
よろしく申し上げます。



保護者の皆様へのお知らせとお願い

①メールの配信について

本校ではメール配信システムを導入し、保護者の皆様の携帯やパソコンに緊急情報のメール配信をしております。新年度にあたり、新たに更新が必要になりますので、ご協力をお願いいたします。4月16日（金）にテストメールを配信しますので、ご確認いただきメールが届かない場合は、担任または教頭までご連絡ください。

②スクールカウンセラー制度

長野県では、スクールカウンセラー活用事業として、臨床心理士などをスクールカウンセラーとして委嘱し、各学校における相談室の環境整備や相談・指導体制の充実を図っています。本校にも要請により来ていただいています。お子さんのことについて、お気軽にご相談ください。相談をご希望の際は、担任または教頭までご相談ください。

（文責：教頭）